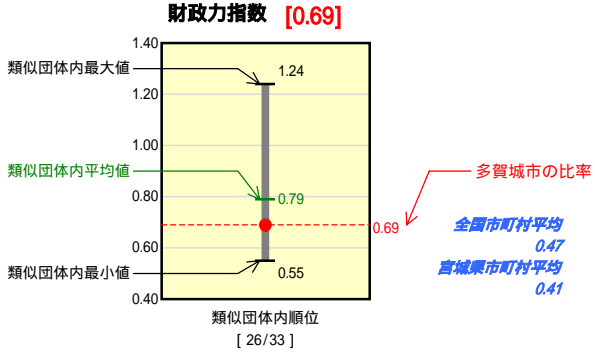


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

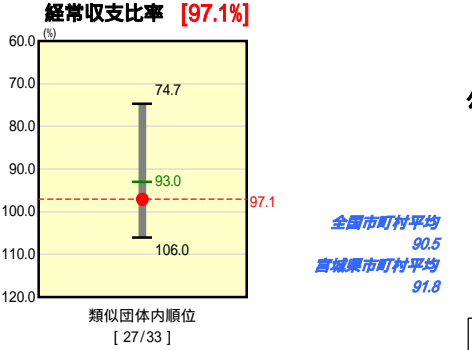
宮城県 多賀城市

人口	61,892人(H17.3.31現在)
面積	19.65 km ²
歳入総額	17,704,029 千円
歳出総額	17,323,879 千円
実質収支	332,736 千円

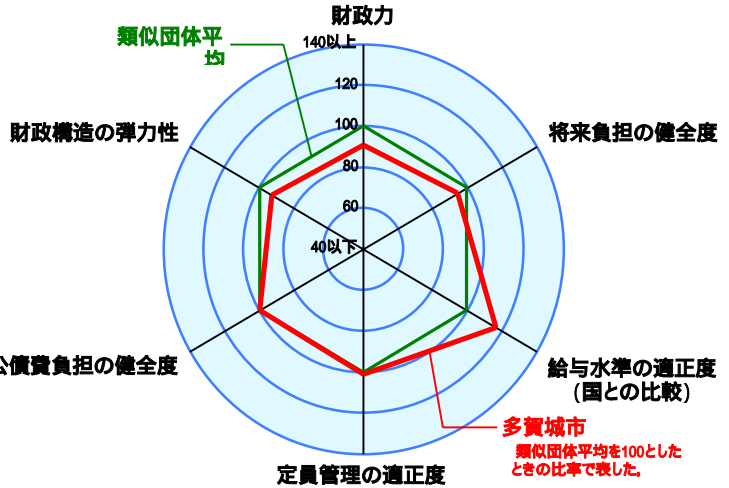
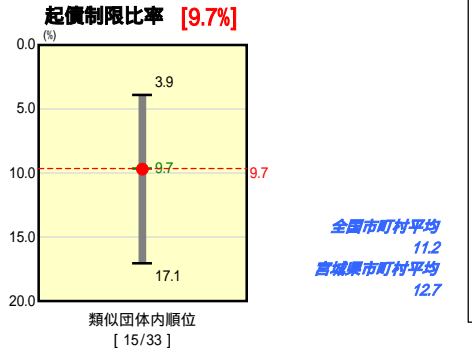
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数

- 長引く景気低迷による個人税・法人税関係の減収などから0.69と類似団体平均を下回っている。適正定員管理指針に基づく人件費の削減や事務事業の見直しなどによる歳出の削減に取り組むとともに、自主財源の確保に努め、自立へ向けた行財政運営を行う。

経常収支比率

- 生活保護のうち医療扶助の増及び一部事務組合への負担金の増、アウトソーシングによる物件費の増加等により、類似団体を大きく上回っている(対前年度比5.1%)。特に扶助費については、児童手当の拡大など、今後も増加の傾向は否めない。適正定員管理指針に基づく人件費の削減や今後の公債費を増やさないためのプライマリーバランスの黒字化、さらには抜本的な事務事業の見直しなどに今後も努め、早期にこの危機的財政状況から脱却する。

起債制限比率

- 高金利の地方債について、一括償還や借換を行ってきたことから、類似団体と比較してもほぼ平均にまで減少することができている。今後もプライマリーバランスの黒字化(償還完全ベース)を保持し、一層の軽減に努めていく。

ラスパイルズ指数

- 類似団体の平均を4.1ポイント、全国市平均を4.0ポイント、全国町村平均より0.1ポイント下回っている。今後も定期昇給の見直しなどを継続的にを行い、適正な給与水準の保持に努める。

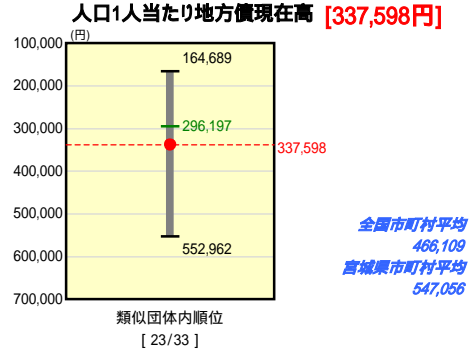
人口1人当たり地方債現在高

- 高金利の地方債について、一括償還や借換を行ってきたことから、類似団体と比較してもほぼ平均にまで減少することができている。今後もプライマリーバランスの黒字化(償還完全ベース)を保持し、一層の軽減につとめていく。

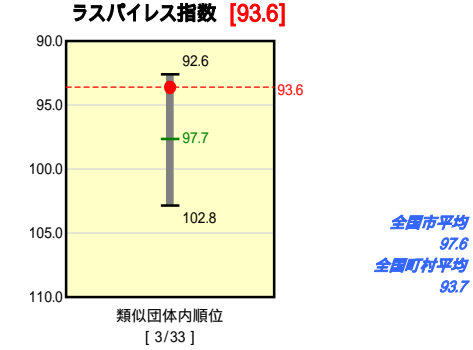
人口1,000人当たり職員数

- 類似都市の大半は人口減少している中、本市においては新規宅地造成やマンションの増加による人口増加により、職員数の密度は低くなっていることや、近年は、適正定員管理指針に基づき積極的なアウトソーシング等を行い、退職者の一部不補充などに努めていることから、類似団体平均を下回る結果となった。今後も引き続き上記指針に基づき、平成36年度までに平成16年4月1日現在職員数の2.5%減(124人減)という長期目標に向けて取り組む。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

